

第156号

令和2年2月1日
広島県府中町議会

ふちゅう 町議会だより

とんとに願う
無病息災

(府中小学校でのとんと祭り)

<目次>

- 非正規職員の月給減額幅を縮小～12月定例会～… 2
- 一般質問
小学校の英語教育は ほか…………… 3～9
- 議会運営委員会行政視察、議会の動き ほか …… 10

非正規職員の月給減額幅を縮小

12月定例会

令和元年第5回定例会を12月13日から17日までの5日間の会期で開催しました。13日は議長や各委員長等からの諸報告、次いで町長報告を受け、府中町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正をはじめとする町提出議案11件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

16日と17日は一般質問を行い、議員提出議案1件を審議して閉会しました。

会計年度任用職員制度関連条例の改正案を可決

9月定例会で可決した、会計年度任用職員への期末手当（ボーナス）の支給額等を定める条例の改正案が町から提出され、賛成多数（賛成12人、反対3人）で可決しました。

改正案では、会計年度任用職員の期末手当の支給割合が見直され、9月定例会で可決された条例で年2・6カ月分と定めたものを年1・45カ月分とし、月給の減額幅を縮小する提案がなされました。当初は、期末手当を年2・6カ月分（9月定例会の概要については「ふちゅう町議会だより第155号」に掲載しています。）

支給し、月額報酬は約2万3000円の減額でしたが、今回の改正により月額報酬は約1万円程度の減額に抑えられます。月額報酬と期末手当を合わせた年額報酬の合計は、一般事務職の報酬例で、185万5899円となります。（改正前184万5992円）

会計年度任用職員制度とは？

地方公務員法や地方自治法の改正により、今までいまいだった非正規職員（嘱託職員や臨時職員など）の任用根拠の明確化と、給与や休暇といった処遇の改善を目指すものです。この制度により、来年度からは会計年度任用職員に期末手当（ボーナス）が支給されます。

なお、制度の詳細は、各自治体の判断に委ねられており、関連する条例の制定など、制度導入に向け準備を進めています。

給与と条例等の改正

令和元年8月の人事院報告に準じ、職員の給与および勤勉手当と、町長、副町長、教育長、議員の期末手当を引き上げる条例議案を可決しました。

改正に伴う影響額は、全体で848万円となり、これらの費用を含む各会計補正予算案も可決しました。

給与は、平均0・15%の引き上げ、期末・勤勉手当は0・05月分の引き上げとなります。

◆一般会計補正予算

【補正額】
2億5180万円の増額

【人件費を除く主な内訳】
個人番号カード交付促進事業 123万円

個人番号カードの交付を促進するため、来庁者への申請勧奨や申請受付などを行うための経費。タブレット端末の購入費やシステム使用料など。

議員提出議案

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を全会一致で原案のとおり可決しました。可決された意見書は、内閣総理大臣など国の関係機関に提出し、その実現を図るよう要望しました。

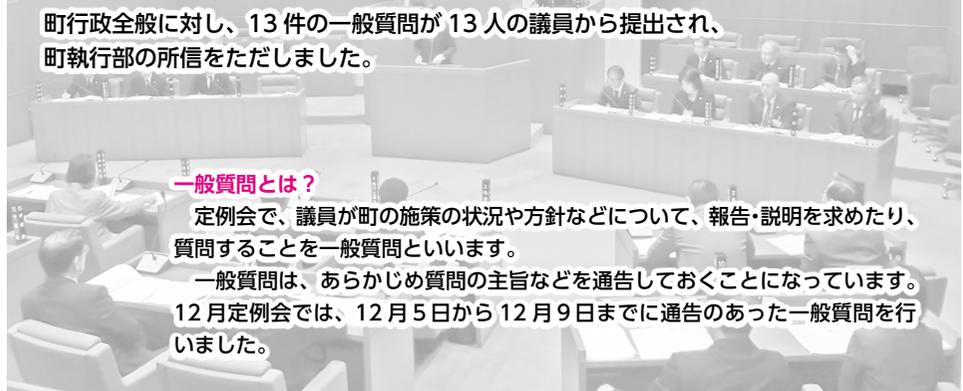
○学校教育環境の体制整備改善を求める意見書

全会一致可決

次の時代を担う子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな指導充実に図り、また、教育環境の体制強化のため、子どもたちはもとより、教師一人ひとりも自分一人で問題を抱え込むことのないよう、学校全体の組織的な対応ができるような体制の整備及び必要な予算措置を講ずることを速やかに実行されるよう、次の事項について強く要望する。

- 1 教職員の増員配置
- 2 スクール・カウンセラー及びスクール・ソーシャル・ワーカーの全校配置

町政のここが聞きたい 一般質問 Q&A



町行政全般に対し、13件の一般質問が13人の議員から提出され、町執行部の所信をただしました。

一般質問とは？

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告・説明を求めたり、質問することを一般質問といいます。

一般質問は、あらかじめ質問の主旨などを通告しておくことになっています。12月定例会では、12月5日から12月9日までに通告のあった一般質問を行いました。

調査年度	全国	広島県	広島市	福山市	呉市	竹原市	大竹市	庄原市	江田町	三原市	尾道市	府中市
1)	56.0	56	56	54	57	53	54	56	54	52	59	56
2)	91.1	91.0	91.7	89.5	92.7	92.4	89.6	90.6	91.3	88.2	92.8	87
3)	88.6	87.2	89.3	84.9	87.2	89.4	89.1	79.1	85.8	85.0	87.8	87
4)	67.3	72.9	74.7	74.1	68.7	71.8	67.7	67.7	67.7	67.7	67.7	67.7

英語の「全国学力・学習状況調査」



児玉 利典 議員

Q 小学校の英語教育は指導法や教材を活用して

児玉 利典 議員
文部科学省では英語教育の改革を進めており、来年度から新学習指導要領により、小学校の英語教育が本格化すると聞いています。

①現状の英語学力の評価は、
②新学習指導要領により英語教育はどのようになるか。また、

教員の指導方向上のための対策は。

教育部長

①平成19年度から毎年実施されている「全国学力・学習状況調査」の結果、英語の平均正答率は、全国、県平均とも上回っており、県内でもトップレベルです。しかし、聞き取りなどの問題では県平均を下回っており、外国人指導助手による日常的な普通の速さの英語に慣れ親しませることなどの授業改善を実施します。

②小中学校の担当者による「府中町外国語教育推進担当者会」を作り、独自の取り組みとして、毎日英語に親しむ時間の「ふちゅうEタイム」などを実施しています。また、県実施の「小学校外国語活用事業」を活用し、小学校教員の外国語教育に関する指導方法や教材の活用方法などの研修を受け、英語力向上に取り組みしています。



繁政 秀子 議員



力山 彰 議員

Q 佐藤町長の再出馬は A 引き続き課題に取り組み

繁政 秀子 議員
令和2年6月に任期満了となる町長選挙に佐藤町長は再出馬をされるのか、その意向を伺います。

また、出馬されるのであれば、2期目に向けての抱負を伺います。

力山 彰 議員
佐藤町長3年半を振り返り、町政運営の成果をお聞かせ下さい。また、次期町長選に出馬されるのであれば、次期に向けての抱負と決意をお聞かせください。



広島都市圏で一番の子育てしやすいまちに

柱の一つと認識しています。そして、このことは行政だけでは達成できない課題でもあり、町民の皆様と一緒に進めていきます。

また、「子育て支援」、「志を育む教育」を継続して町の魅力として掲げ推進するなかで、それ以外の分野にも目配りした施策展開を行い、それをしっかりと宣伝し、見える化していきます。

項目を示すと、まちの骨格を形成する都市基盤、区画整理事業、公共下水道、補助

「災害に強いまちづくり」と連携した「国土強靱化地域計画」の府中町版を早期に策定し、災害に強いまちづくりを推進します。高齢者の



安全なまちづくりを

増加に合わせ、医療介護の連携強化なども進めていきます。

また、現在進めている府中公民館等改築事業、揚倉山健康運動公園上段グラウンドの人工芝化、小学校トイレの洋式化を引き続き進めていきます。

「笑顔でお迎える役割」創出では、働き

町長

私が町民の皆様にお約束した施策は、おおむね軌道に乗りつつあると認識していますが、なお磨きをかけていきたいと思っております。また、この間に新たに

直面した課題にも継続して取り組み、引き続き府中町政を担い、頑張りたいです。

2期目の抱負・方向性として一番に取り組むべき課題は、昨年の豪雨災害を経験し、町民の皆様にとって「安全なまちをつくる」こ

とです。これが最優先課題です。豪雨災害からの復旧、復興はもちろんのこと、頻発化、激甚化する自然災害に対し、ハード・ソフトの両面において、「災害に強いまち」、「安心安全なまち」の構築は喫緊の課題で、町政の



西 友幸 議員



二見 伸吾 議員

Q まち・ひと・しごと戦略は A 長期スパンで一体的に



令和元年 12月1日現在の人口

西 友幸 議員

平成27年に町の総合戦略として「府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されましたが、これまでの取り組み状況と成果について伺います。

総務企画部長
①子育て支援関係では、プラチナ保育手当の支給、南小学校区の放課後児童クラブ新

対象期間内の主な取り組みは。

②町の人口推移および出生率の推移は。

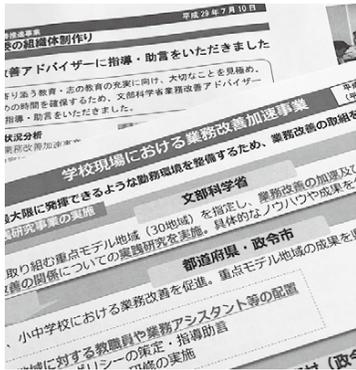
築、電子黒板の追加購入などの学校ICT化などに取り組みました。また、生活利便性の向上として、街路歩道の再整備や通学路の整備、つばきバス停留所への雨除けバスシェルターの設置などに取り組みました。さらに、地域の魅力向上として、公民館などの改築や地域創業支援、文化財保護などの事業にも取り組んでいます。

二見 伸吾 議員
①府中町は広島市と合併をしないで良かったと考えるが、町としての考えは。
②「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定から5年、成果が上がっていないように思うが、抜本的な見直しについて、町の見解は。
③人口減は、町のまちづくりには有益な面もあると考えるが、町の考えは。
④人口の自然増をもたらす20歳から39歳までの女性を限定して指標にするのは、適切ではないと思うが、町の考えは。

好で、今後も安定した行政運営を担保しつつ、長期的な視点に立ってまちづくりを推進します。
②地方創生は短期的に簡単に結果が出るものではなく、総合戦略と総合計画は、長期スパンでの人口減少対策という点で共通の目的を持つことから、一体的に策定し連携して推進していきま

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、

人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって魅力と活力に満ちたまちとして発展していくために展開する施策の方向性や目標を示した計画です。



学校現場における業務改善加速事業

梶川 三樹夫 議員
町教育委員会は、教員の働き方改革を推進するため平成29年度から業務改善に取り組み、今年度は民間スポーツジムによる部活動指導支援も実施されています。一方、学校現場では、時間外勤務の削減が思うように進まないとも聞いています。これまでに取り組ま

教育部長
町では平成29年度から文部科学省の「学校現場における業務改善加速事業」を県内で唯一受託し、県教育委員会と連携して、教職員の「働き方改革」、「業務改善」に取り組んでいます。3年間の計画

ている内容とその成果、今後の課題を伺います。

的な業務改善の取り組みにより、勤務時間は確実に減少しており、特に中学校で大きな改善が見られ、教職員の意識改革も進んでいます。しかし、依然として中学校では約2割の教職員が月80時間を超えている時間外勤務を行っており、時間外勤務の多い教職員が固定化している実態もあります。主な原因は、部活動の指導です。このことは、教職員、保護者、地域関係団体などと部活動指導の在り方について理解を共有しながら取り組む必要があります。今後も、教育委員会と教育現場が一体となり、さらなる教育の質の向上を目指します。



木田 圭司 議員

Q 教育振興の成果は可能性に挑戦する力で

木田 圭司 議員
平成27年5月に「府中町教育振興基本計画」が策定され、さまざまな事業が実施されました。この5年間で取り組んだ町独自の教育関連事業とその成果を伺います。

「志を育てる教育事業」などを推進しています。自分を大切に、志を持って夢へ挑戦し、社会の中で自己実現を図れるよう、学び続ける力を持つ児童生徒を育成するため、教育講演会などを行っています。成果として「将来の夢や目標はかなうと思ふ」と答える児童生徒の割合が県平均を上回るなど、「夢や志を持ち、可能性に挑戦す

る力」が少しずつ育まれています。社会教育としては、生涯各期に応じた学習機会を提供します。公民館活動グループの地域還元事業として、110のグループが学習成果を地域に還元する「学ボラ」などを実施し、子どもから高齢者に至るまで、世代を超えた学習・交流は、学びのネットワークの拡大、学習者のモチベーション向上につながっています。教育環境の整備に関しては、平成29年度までに小中学校の耐震化や普通教室などの空調設備整備を完了するなど、計画的に行っています。



全小中学校の耐震化が完了（府中中学校）



梶川 三樹夫 議員

Q 教員の働き方改革は中学校で大きな改善

町では平成29年度から文部科学省の「学校現場における業務改善加速事業」を県内で唯一受託し、県教育委員会と連携して、教職員の「働き方改革」、「業務改善」に取り組んでいます。3年間の計画

ている内容とその成果、今後の課題を伺います。

的な業務改善の取り組みにより、勤務時間は確実に減少しており、特に中学校で大きな改善が見られ、教職員の意識改革も進んでいます。しかし、依然として中学校では約2割の教職員が月80時間を超えている時間外勤務を行っており、時間外勤務の多い教職員が固定化している実態もあります。主な原因は、部活動の指導です。このことは、教職員、保護者、地域関係団体などと部活動指導の在り方について理解を共有しながら取り組む必要があります。今後も、教育委員会と教育現場が一体となり、さらなる教育の質の向上を目指します。



橋井 肇 議員

Q 子どものいじめ対策は相談体制を充実

橋井 肇 議員
いじめや不登校に関する相談は電話が中心でしたが、LINE（ライン）など子どもたちが日常的に親しんでいるツールを活用し、より気軽に相談できることが必要だと思います。町の電話相談、面接相談、心の教室相談の件数、代表的な相談内容などの状況を伺います。

教育部長

町では、県だけでなく町負担によるスクールカウンセラーの配置を行い、他市町よりも子どもが相談しやすい体制づくりを行っています。教育相談室では、相談員3名が小中高生からの電話や面接相談を受けています。また、



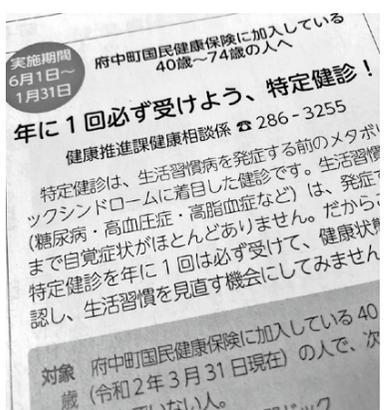
LINEなどのツールの活用も

小学校に「心の教室」を開設し、教育相談を行っています。平成30年度のスクールカウンセラーの相談件数は、小学校675件、中学校2983件です。内容は、不登校に関するものが最も多く、いじめに関しては、小中学校合わせて9件でした。教育相談室での電話相談は220件、面接相談は797件、各小学校の「心の教室」での相談は1467件です。内容は、心身や友人関係、学習に関する相談が最も多く、不登校やいじめに関しては10件でした。今後も児童生徒が悩みや不安を気軽に相談できる体制の充実に努めます。



西山 優 議員

Q 国保の財政基盤の強化を努力支援制度を活用



特定健診の受診率向上に向けて

当町の取り組みとしては、特定健診の受診率向上のため、平成30年度は40歳から74歳の対象被保険者7001人に個別通知を年2回送付しました。また、被保険者が健康な生活が送れるようにレセプトや特定健診の結果データや特定健診の医療費を分析し、糖尿病性腎症重症化予防などを行います。その他、保険税の新たな滞納者を作らないことを基本に、納税案内センターから電話による納税勧奨など取組率向上対策を行います。今後も医療費の適正化と被保険者が生き生きと健康な生活が送れるよう、国民健康保険の財政基盤強化に努めます。

西山 優 議員

政府は、来年度から病気の介護状態に至る前の予防に積極的に取り組む自治体を支援する「保険者努力支援制度」の交付金の増額を検討しています。この制度は、メタボ検診などの実施状況を点数化し、次年度の交付金配分額に反映させ

福祉保健部長

保険者努力支援制度は、国民健康保険の財政基盤強化のため、医療費適正化への取り組みなどを行った自治体の努力に対し、交付金を支援する制度です。る仕組みと聞いていますが、町での取り組みの現状を伺います。



上原 貴議員



中村 勤議員

Q 新たな健康づくり制度は A ポイント制度などを検討

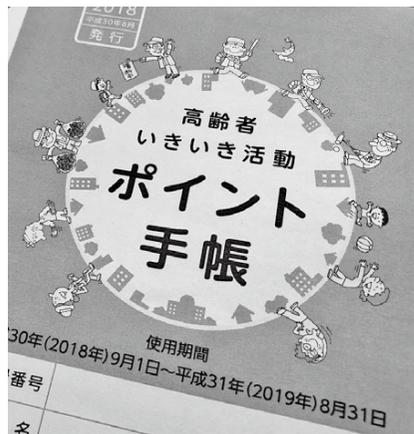
上原 貴議員

広島市では、高齢者の健康づくりと介護予防活動にポイントを付与する「高齢者いきいき活動ポイント事業」を行っています。町の健康マイレージ制度は、個人への還元ではないため、自分の健康のために「何かをやる」という動機付けにはつながりにくいと思います。

来年度は東広島市などでも同様な制度の導入が検討されていますが、町でも導入してはいるかがですか。また、財源となる補助金などはありますか。

福祉保健部長

広島市の「高齢者いきいき活動ポイント事業」は、介護保険制度における地域支援事業



導入を前向きに検討

中村 勤議員

日本は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。当町の高齢化率も増加傾向にあり、今後、介護給付費などの増加を抑制するため、高齢者への介護予防をいかに展開するかが課題です。

福祉保健部長
①当町では、健康マイジャン教室や筋力アップ教室などを実施し、昨年度は各教室で延べ6616人の利用がありました。



買い物支援など新たな施策の検討

より多くの町民に参加していただくため、今後も各種教室の周知を図っていきます。

示す評価項目に1つでも多く取り組んでいきます。また、買い物支援は、生活支援体制整備事業により、社会福祉協議会など生活支援サービスを担う事業主体と連携しており、今後も地域のニーズや課題などの把握に努めます。



益田 芳子議員



岩竹 博明議員

Q 児童虐待防止対策は A 子育て支援を充実



児童虐待の相談窓口

益田 芳子議員
児童虐待の防止は、経済的負担や孤立などによる不安、子育ての悩みから始まる虐待を早期に発見し、児童保護だけでなく虐待をしてしまう親への見守り支援も重要です。児童虐待から子どもを守るサービス事業

福祉保健部長
現在、県と共同で、さまざまなリスクを抱える子どもを多面的・継続的に把握し、見守り支援する「見守り支

岩竹 博明議員
町は、広島都市圏で一番子育てしやすい町を目標に、総合的な子



乳児家庭の訪問時にプレゼントするバスローブ

今後は、子育て支援の充実を図りながら、児童虐待の兆候の把握に努め、関係機関と連携し虐待防止に取り組みます。

援サポート事業」を検討しています。実施中の事業としては、生まれて3・4か月までの赤ちゃんを訪問する乳児家庭全戸訪問事業があります。バスローブのプレゼントを持って訪問し、子育てに関する悩みへのアドバイスなどを行い、孤立を招かないよう支援しています。

子ども・子育て支援を推進していますが、児童虐待は年々増加しています。しつけと虐待を見分けることは困難ですが、社会全体で早期発見することが肝心です。また、発覚してからの対応が重要であり、児童にとって人生が左右されます。

福祉保健部長
平成30年度の相談対応件数は182件（虐待のある要保護児童数123件、特定妊婦を含む要支援児童59件）でした。児童虐待防止のため

には、早期に手を差し伸べることが重要であり、虐待の兆候がないか確認に努めています。相談対応件数は依然として増加傾向にあります。虐待相談には全て心理的虐待が存在すると言われ、長期的な心理的虐待により、児童が愛着形成の点で課題を抱えているケースもあります。児童が安心して安全な場所や関係の中で育つことが一番大事ですが、心理的虐待への対応も、今後検討していく必要があります。

議会の動き

10月

- 2日 熊本県益城町議会来庁
3日・10日 議会報特別委員会
31日 議会運営委員会行政視察
(長崎県長崎市)

11月

- 1日 議会運営委員会行政視察
(熊本県玉名市)
5日 福岡県水巻町議会来庁

12月

- 3日 総務文教委員会
4日 厚生委員会、建設委員会
11日 議会運営委員会
12日 議会報特別委員会
13日～17日 12月定例会
17日・26日 議会報特別委員会

全国町村議会議長会創立70周年記念表彰 地方自治の振興発展に寄与



町議会議員を30年以上務め、地方自治の振興と住民福祉の向上に尽くした功績により、全国町村議会議長会から繁政秀子氏が表彰されました。

議会運営委員会行政視察

議会運営委員会では、長崎県長崎市と熊本県玉名市に伺い、行政視察を実施しました。

●長崎市「長崎市議会BCP（業務継続計画）について」

大規模災害等が発生した際に、議会機能の早期回復などを図るため、議会の対応について必要な事項を定めています。

●玉名市「議会の災害対応について」
熊本地震を経験し、災害に対し「常に身近に起こり得る非常事態」として認識を改め、議会独自の災害対策を整備するため「玉名市議会災害対応基本計画」が策定されています。

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は3月上旬の予定です。



事前申し込みは不要です。
ぜひ、お気軽にお越しください。

表紙の紹介



とんど祭りは、正月に迎えた神様を送る小正月の伝統行事です。皆さん思い思いに正月飾りや書き初めなどを燃やし、新年の無病息災を願いました。多くの人が見守る中、ドーンドーンと音を立て、勢いよく燃え上がる。とんどの迫力に圧倒されました。

編集後記

令和となって初めての新春を迎えました。今年はずみ年、「大黒天」・「大国主命」の使いは共に「ねずみ」とされています。

仏教の守護神である大黒天に使いというのは日本の神道の神で、もともとねずみを使いつついた大国主命が、神仏習合により同じ神さまになったものようです。

「だいこくさま」は、福德や豊穡、財宝を授ける神さまとして七福神にも仲間入りしています。大国主命は、顔かたちといい、持ち物といい、大黒天とは似ていませんが、ねずみに救われた神話に因んで、ねずみは使いとされていることから、祀られた神社仏閣は開運スポットといえそうです。

今年皆様に福德、豊穡が来ますように、町議会議員も町民の皆様の声を大切にしたい、議員活動を目指してまいります。よろしくお願いたします。

(西山 優)